

各 位

会 社 名：株式会社夢真ホールディングス

(コード：2362 JASDAQ)

代表者名：代表取締役社長 佐藤 大央

問合せ先：常務取締役経営企画本部長 添田 優作

(TEL：03-3210-1212)

持株会社体制への移行に関するお知らせ

当社は、本日開催の取締役会において、2019年10月1日を目処に持株会社体制へ移行すべく、その準備を開始することを決議いたしましたので、下記のとおりお知らせいたします。

なお、持株会社体制への移行につきまして、2019年9月開催予定の当社臨時株主総会において関連議案が承認可決されること及び必要に応じて関係官公庁の許認可等が得られることを条件に実施いたします。

記

1. 持株会社体制への移行背景と目的

現在、夢真グループでは、人手不足が深刻な建設業界とIT業界へ向け、年間4,600人超の積極的な採用を行い、研修・育成を進めております。当社は、今後、人材不足の加速を見込んでおりグループ企業を横断した採用体制の構築が必要不可欠だと認識しております。このような事業環境の中、純粋持株会社体制へ移行することが今後の企業価値の最大化に資すると判断いたしました。目的は以下の通りです。

(1) グループ体制の強化

持株会社は当社グループ全体のマネジメントに特化し、コーポレート・ガバナンスやM&Aを含むグループ経営戦略を立案するとともに、経営資源の最適な配分および効率的活用により、グループ全体の企業価値の最大化を図ります。

(2) 役割と責任の明確化

事業組織とグループ経営を行う組織とを分離し、双方の責任と権限を明確化することで、意思決定の迅速化、柔軟な事業推進、競争力の強化を図ります。

2. 移行方法

分割する事業を100%出資の新設会社（以下、「準備会社」という）に承継する方法を想定しております。また、株式会社夢真ホールディングスは持株会社として引き続き上場を維持いたします。

3. 今後の移行スケジュール

準備会社設立	2019年6月上旬（予定）
吸収分割 取締役会決議	2019年6月下旬（予定）

吸収分割 臨時株主総会決議	2019年9月下旬(予定)
効力発生日 持株会社体制へ移行	2019年10月1日(予定)

4. 今後の見通し

本分割により事業を承継する事業会社は、当社の完全子会社であるため、当社連結業績への影響は軽微であります。

以 上